

## AL アミロイドーシスの骨髄細胞における遺伝子異常の網羅的解析

## 1. 研究の対象

2001年4月1日以降に当院でALアミロイドーシスまたは多発性骨髄腫の診断のため骨髄検査を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

ALアミロイドーシスでは骨髄中の形質細胞が産生する免疫グロブリン軽鎖に由来するアミロイド蛋白が全身の臓器に蓄積し、種々の臓器障害をきたす疾患ですが、その原因は未だ不明です。この研究は、ALアミロイドーシスと多発性骨髄腫と比較することにより、ALアミロイドーシスの成り立ちを、骨髄細胞の遺伝子の面から明らかにしようとするものです。ALアミロイドーシスまたは多発性骨髄腫の患者さんの骨髄細胞と、他の体細胞(例えば頬粘膜細胞や正常の末梢血細胞など)の遺伝子の違いを調べ、ALアミロイドーシスを起こすような遺伝子の変化を同定する事を目指します。この研究により、ALアミロイドーシスがなぜ発症するのかを明らかにし、その予防法や治療法の開発に発展していくことが期待されます。

研究期間：2017年承認後から2022年3月31日

なお、将来研究内容が追加・変更になる可能性があります。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

研究に用いる試料：骨髄液および血液

研究に用いる情報：カルテ番号、生年月日、病歴、病歴、治療歴

## 4. 外部への試料・情報の提供

試料と情報は外部へと提供されることはなく、すべて当院血液内科で研究に用いられます。

## 5. 研究組織

千葉大学医学部附属病院 血液内科 診療教授 堺田恵美子

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者・代表者：

千葉大学医学部附属病院 血液内科 診療教授 堺田 恵美子

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話:043-222-7171 内線 5259 (血液内科)